

# 2024年度（令和6年度） 町田市立南中学校 数学科 1年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：新しい数学（東京書籍） 年間授業時数：140時間(定期考査4時間分を含む)

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	0章 算数から数学へ 整数の性質 	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然数をいくつかの数の積で表すことによるよさや素因数分解の意味を理解する。</li> <li>素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然数、素数、素因数分解の意味を理解する。</li> <li>素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解する。</li> <li>自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だし表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。</li> <li>素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だし表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だし表現している。</li> </ul>
4 5 6	1章 数の世界をひろげよう  [正負の数]	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>正の数と負の数の必要性和意味を理解し、具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることができる。</li> <li>正の数と負の数の四則計算をすることができる。</li> <li>数の集合と四則計算の可能性を理解することができる。</li> <li>算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現したり、正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。</li> <li>正の数と負の数のよさに気づいて粘り強く考え、正の数と負の数について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、正の数と負の数を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正負の数の必要性和意味を具体的な場面と結び付けて理解する。</li> <li>正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解する。</li> <li>算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正負の数の四則計算をしたり、方法を考察し表現したりする。</li> <li>具体的な場面で正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現、処理をする。</li> <li>正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討する。</li> <li>数の集合と四則計算の可能性について捉え直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正負の数の必要性和意味を具体的な場面と結び付けて理解している。</li> <li>正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。</li> <li>正負の数の四則計算をすることができる。</li> <li>具体的な場面で正負の数を用いて表したり処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。</li> <li>正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正負の数の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
6 7	2章 数学のことばを身につけよう  [文字と式]	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることの必要性和意味、文字を用いた式における積と商の表し方を理解することができる。</li> <li>具体的な場面と関連づけて、簡単な1次式の計算の方法を考察し表現したり、簡単な1次式の加法と減法の計算をすることができる。</li> <li>数量の関係や法則などを文字を用いた等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることの必要性和意味を理解する。</li> <li>文字を用いた式における積や商の表し方を知る。</li> <li>文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求める。</li> <li>具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現し、簡単な1次式の計算をする。</li> <li>数量の関係や法則などを、文字を用いた式を用いて表したり、その意味を読み取ったりする。</li> <li>文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることの必要性和意味を理解している。</li> <li>文字を用いた式における積や商の表し方を知っている。</li> <li>文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>文字を用いた式を活用した問題解決の過程</li> </ul>

			<p>式や不等式に表すことができることを理解し、文字式を用いて表したり、文字式を読み取ったりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることのよさに気づいて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>	<p>討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な1次式の計算をすることができる。</li> <li>数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。</li> <li>数量の関係や法則などを、文字を用いた式を用いて表したり、読み取ったりすることができる。</li> </ul>		<p>を振り返って検討しようとしている。</p>
8 9 10	3章 未知の数の求め方を考えよう  [方程式]	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解することができる。</li> <li>等式の性質を基にして手際よく方程式を解くことができる。</li> <li>比例式を解くことができる。</li> <li>方程式、比例式を具体的な場面で活用することができる。</li> <li>方程式のよさに気づいて粘り強く考え、方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、方程式を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の必要性と意味を理解する。</li> <li>方程式の解や等式の性質を理解する。</li> <li>等式の性質の意味を理解し、等式の性質をもとに1次方程式を解く方法を考察し、表現したり、実際に1次方程式を等式の性質を用いて解く。</li> <li>等式の性質をもとに移項できる理由を考察したり、移項の考えを用いて方程式を解いたりする。</li> <li>簡単な1次方程式、比例式を解く。</li> <li>正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討する。</li> <li>具体的な場面や事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくり、問題を解決したり、解決の過程を振り返り検討し、解の吟味の意味と必要性を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の必要性と意味を理解している。</li> <li>方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。</li> <li>等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。</li> <li>移項の考えを用いて方程式を解くことができる。</li> <li>簡単な1次方程式、比例式を解くことができる。</li> <li>事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。</li> <li>1次方程式を用いて具体的な場面の問題解決を行うときの、解の吟味の意味と必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>等式の性質をもとにして、1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</li> <li>方程式において、移項できる理由を等式の性質をもとにして考察し表現することができる。</li> <li>具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題を解決することができる。</li> <li>具体的な場面の問題において、解を吟味して解答とすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討している。</li> <li>方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
10	4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう  	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数関係の意味を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数関係の意味を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数関係の意味を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比例、反比例として捉えられる2つの数量について、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数関係の意味や比例、反比例について考</li> </ul>

11	[比例と反比例]		<ul style="list-style-type: none"> <li>・比例, 反比例について, 表, 式, グラフに表し, 変化や対応の特徴を見出したり, 比例, 反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> <li>・比例, 反比例のよさに気づいて粘り強く考え, 比例, 反比例について学んだことを生活や学習にいかそうしたり, 比例, 反比例を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比例について理解し, 表, 式, グラフなどに表す。</li> <li>・反比例について理解し, 表, 式, グラフなどに表す。</li> <li>・比例, 反比例として捉えられる2つの数量について, 表, 式, グラフなどを用いて調べ, それらの変化や対応の特徴を見いだす。</li> <li>・比例, 反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現しながら問題解決をしたり, 問題解決の過程を振り返って検討したりする。</li> <li>・ICTの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比例, 反比例について理解している。</li> <li>・比例, 反比例を表, 式, グラフなどに表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表, 式, グラフなどを用いて調べ, それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。</li> <li>・比例, 反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>えようとしている。</li> <li>・比例, 反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・比例, 反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
11 12 1	5章 平面図形の見方をひろげよう   [平面図形]	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平行移動, 対称移動及び回転移動について理解することができる。</li> <li>・角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線などの基本的な作図の方法を, 図形の性質に着目しながら, 考察, 表現することができる。</li> <li>・図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。</li> <li>・平面図形の性質や関係を捉えることのよさに気づいて粘り強く考え, 平面図形について学んだことを生活や学習にいかそうしたり, 作図や図形の移動を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> <li>・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解する。</li> <li>・平行移動, 対称移動及び回転移動について理解する。</li> <li>・図形の移動に着目し, 2つの合同な図形の関係について考察し表現する。</li> <li>・線対称な図形の性質をもとにして, 角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線などの基本的な作図の方法を考察, 表現する。</li> <li>・図形の移動や基本的な作図を活用して問題解決をしたり, 問題解決の過程を振り返って検討したりする。</li> <li>・おうぎ形の弧の長さや面積を求める。</li> <li>・ICTの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平行移動, 対称移動及び回転移動について理解している。</li> <li>・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。</li> <li>・角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線などの基本的な作図の方法を理解している。</li> <li>・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の移動に着目し, 2つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。</li> <li>・線対称な図形の性質をもとにして, 基本的な作図の方法を考察し表現することができる。</li> <li>・図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図形の性質や関係を捉えることの必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>・平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・図形の移動や基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
1 2	6章 立体の見方をひろげよう   [空間図形]	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間における直線や平面の位置関係を理解することができる。</li> <li>・立体を線分や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり, 立体を平面上に表現して, 平面上の表現から立体の性質を見いだしたりすることができる。</li> <li>・基本的立体の表面積と体積の求め方を考察し表現したり, それらの表面積と体積を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されているものであることを知る。</li> <li>・空間における直線や平面の位置関係を理解する。</li> <li>・立体図形の展開図や投影図について理解し, 平面上の表現から空間図形の性質を見出す。</li> <li>・柱体や錐体, 球の表面積と体積を求める。</li> <li>・ICTの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間における直線や平面の位置関係を理解している。</li> <li>・立体図形の展開図や投影図について理解している。</li> <li>・柱体や錐体, 球の表面積と体積を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。</li> <li>・空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。</li> <li>・立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。</li> <li>・空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>空間図形の性質や関係を捉えることよきに気づいて粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>				
2 3	7章 データを活用して判断しよう  [データの分析と活用]	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムや相対度数、累積度数、累積相対度数などの必要性和意味を理解することができる。</li> <li>目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータをコンピュータなどの情報手段を用いるなどして表やグラフに整理し、分布の傾向を読み取ったり、批判的に考察し判断したりする。</li> <li>多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現することができる。</li> <li>ヒストグラムや相対度数などのよさに気づいて粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりすることができる。</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気づいて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムや相対度数、累積度数、累積相対度数の必要性和意味を理解する。</li> <li>ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えたりする。</li> <li>代表値や範囲の必要性和意味を理解する。</li> <li>目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータをコンピュータなどの情報手段を用いるなどして表やグラフに整理し、分布の傾向を読み取ったり、批判的に考察し判断したりする。</li> <li>ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考える。</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解する。</li> <li>多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現する。</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程をふり返って検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。</li> <li>累積度数、累積相対度数の必要性和意味を理解している。</li> <li>代表値や範囲の必要性和意味を理解している。</li> <li>コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。</li> <li>多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムや相対度数の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えようとしたりしている。</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。</li> </ul>